

SYLLABUS (前期)

授業科目	ビジネスマナーⅡ		年次	2 年	前後期	通年	単位	4
授業の種類	講義	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			
実務経験内容								
教育目標	仕事に対する姿勢やビジネス文書の基本事項、統計・データの読み方まとめ方等を学び、社会人として必要な知識を身に付ける。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	仕事に対する基本姿勢①		顧客意識・品質意識・納期意識・協調意識					
2	仕事に対する基本姿勢②		目標意識・改善意識・コスト意識・時間意識 合理的な仕事の進め方					
3	仕事への取り組み①		正確かつ計画的に 1日の計画表の立て方					
4	仕事への取り組み②		仕事のマニュアル化とマニュアル化の意味 スケジュール管理に不可欠なツール					
5	仕事への取り組み③		仕事は効率を考えて処理する 仕事の能率を上げるための身辺整理					
6	社会のルールと勤務条件①		就業規則と職場のルール 勤務条件と労働法とのかかわり					
7	社会のルールと勤務条件②		給与の支払い形態と差引支給額					
8	仕事とIT		パソコンは日常生活に不可欠なツール ネットワークと電子メールの活用、パソコン使用上のルール					
9	ビジネス文書の基本		ビジネス活動に欠かすことのできないビジネス文書 ビジネス文書を作成する際のポイント					
10	社内文書の種類と役割①		社内文書の特色と役割 日常勤務に関する届けや身上の届は書式に従う					
11	社内文書の種類と役割②		伝達文書は社内文書の中でも重要な役割 職種や状況に応じて各種の報告書を作成					
12	社外文書の種類と役割①		会社を代表して書いているという自覚 社外文書として社交・儀礼の文書がある					
13	社外文書の種類と役割②		社外文書の形式					
14	社外文書の種類と役割③		頭語と結語は対応する 時候のあいさつで季節感を添える					
15	社外文書の種類と役割④		前文・末文のあいさつことば 封筒・便箋の書き方・使い方と郵便以外の発送・通信サービス					
1回配当時間		2時間	1コマ					
使用教科書		ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト、就職活動 実践！ワークブック 改訂版						

SYLLABUS (前期)

授業科目	自動車整備		年次	2 年	前後期	通年	単位	4
授業の種類	講義	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			○
実務経験内容	自動車整備職としての実務経験を有す。							
教育目標	自動車の修理、分解組立、診断など自動車整備に必要な知識を身に付ける。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	エンジン本体		エンジンの構造					
2	潤滑装置および冷却装置		オイルポンプ、オイルフィルタ ラジエータ、サーモスタット					
3	吸排気装置		エアクリーナ、マニホールド、マフラ					
4	燃焼と排気ガス		燃焼と排気ガス					
5	電気装置		半導体、バッテリー、始動装置					
6	基礎工学1		機械要素、材料、潤滑剤					
7	基礎工学2		機構、力学、電気回路、電子回路					
8	動力伝達装置		クラッチ、トランスミッション					
9	動力伝達装置		ドライブ・シャフト、デファレンシャル					
10	アクスルおよびサスペンション		懸架方式、スプリング、アブソーバ					
11	ステアリング装置		ステアリング機構、パワーステアリング					
12	ホイールおよびタイヤ ブレーキ装置		ホイールおよびタイヤ ホイール・アライメント ブレーキ装置					
13	フレームおよびボデー		フレームおよびボデー					
14	電気装置		灯火装置、冷房装置 ワイパ、計器、CAN通信					
15	前期のまとめ		復習とまとめ					
1 回配当時間		2 時間	1 コマ					
使用教科書		自動車整備士3級練習問題集シャシ、自動車整備士3級練習問題集ガソリン、電気の基礎知識 電気の安全に必要な基礎知識 ハイブリット車の概要、自動車のしくみパーフェクト事典、三級自動車ガソリン・エンジン構造、三級自動車シャシ						

SYLLABUS (前期)

授業科目	自動車法規		年次	2 年	前後期	通年	単位	4
授業の種類	講義	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			○
実務経験内容	自動車整備職としての実務経験を有す。							
教育目標	道路運送車両法や自動車の保安基準など自動車整備に必要な知識を身に付けます。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	自動車法規の概要		自動車整備技能試験についての説明・法規制の概要説明					
2	道路運送車両法/ 第1章 総則		法規制の概要・道路運送車両法					
3	道路運送車両法/ 第2章 自動車の登録等		第4条 登録の一般的効力 ～ 第19条自動車登録番号標の表示の義務					
4	道路運送車両法/ 第2章 自動車の登録等		第29条 車台番号等の打刻 ～ 第34条臨時運行の許可・練習問題					
5	道路運送車両法/ 第3章 道路運送車両の保安基準 第4章 道路運送車両の点検及び整備		第40条 自動車の構造 ～ 第55条自動車整備士の技能検定・練習問題					
6	道路運送車両法/ 第5章 道路運送車両の検査等		第58条 自動車の検査及び自動車検査証 ～ 第66条臨時検査					
7	道路運送車両法/ 第5章 道路運送車両の検査等		第67条 自動車検査証記録事項の変更及び構造等変更検査 ～ 第71条限定自動車検査証等 練習問題					
8	道路運送車両法/ 第6章 自動車の整備事業		第77条 自動車特定整備事業の種類 ～ 第91条の3 遵守事項					
9	道路運送車両法/ 第6章 自動車の整備事業		第92条 改善命令 ～ 第95条自動車整備振興会					
10	道路運送車両法/ 第7章 雑則		第97条 の2 ～ 第99条の2 不正改造の禁止					
11	道路運送車両法施工規則の別表		施工規則別表第1～第5					
12	自動車点検基準		第1条日常点検 ～ 別表第2自家用自動車等の日常点検					
13	自動車点検基準		別表第3事業用自動車等の定期点検基準 ～ 別表第7二輪自動車の定期点検基準					
14	前期復習		前期復習講義					
15	復習・試験対策		前期復習講義・試験対策講義					
1回配当時間		2時間	1コマ					
使用教科書		自動車整備技術法令教材						

SYLLABUS (前期)

授業科目	メカトロニクスⅡ		年次	2 年	前後期	通年	単位	4
授業の種類	講義	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			○
実務経験内容	自動車整備職としての実務経験を有す。							
教育目標	1 年次に学んだ基礎的事項をもとにメカニズム、性能、安全性をさらに追及し、メカトロニクスの今後について考えます。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	ガイダンス		メカトロニクスの前期概要説明・現在のメカトロ事情 1年時の総復習と確認					
2	機械要素技術		要素部品の種類と役割 ねじ・軸受・歯車・リンク・カムに関する技術計算をする					
3	センサ技術		センサの種類と役割・センサの特性表の見方と専門用語の学習 機械式SWと光電SWの使い分け					
4	アクチュエータ技術 1/8		アクチュエータの種類と特徴 シーケンスについて考える・駆動回路の紹介					
5	アクチュエータ技術 2/8		インダクションモータとステッピングモータ1 制御回路・専用IC回路での用い方					
6	アクチュエータ技術 3/8		インダクションモータとステッピングモータ2 ON/OFF制御・リニア制御の特徴と使用例を学ぶ					
7	アクチュエータ技術 4/8		インダクションモータとステッピングモータ3 PWM制御回路・正逆制御回路の紹介					
8	アクチュエータ技術 5/8		ソレノイド制御回路の実例 ACサーボモータ概要とDCサーボとの対比					
9	アクチュエータ技術 6/8		油圧システムとは・油圧の特徴・身近な油圧装置 圧力・流量・方向制御に見る油圧回路とブロック回路					
10	アクチュエータ技術 7/8		油圧に必要な各種技術計算 ポンプ容量・電動機の選定・シリンダ力量・配管サイズの決め方					
11	アクチュエータ技術 8/8		空気圧システムとは・電気/油圧との違い アクチュエータの動作と制御・空気圧回路					
12	コンピュータ技術 1/2		コンピュータ制御・基本構成と機器を覚える I/O関連とシーケンサの使い方					
13	コンピュータ技術 2/2		インターフェース・D/A・A/D変換の使い方 割り込み処理と言語					
14	システム制御		ブロック線図・ラプラス変換の実例 論理回路・論理記号・と電子回路シーケンス					
15	ロボットテクノロジー		ロボット概論 駆動方式と制御					
1 回配当時間		2 時間	1 コマ					
使用教科書		ハンディブック メカトロニクス						

SYLLABUS (前期)

授業科目	機械設計法		年次	2 年	前後期	通年	単位	4
授業の種類	講義	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			○
実務経験内容	自動車整備職、航空機の開発試験、試験装置の開発等の実務経験を有す。							
教育目標	工業製品を作る手法について学び、機械製図に役立てます。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	ガイダンス		本科の目的 教科書の機械設計とものづくり現場の機械設計					
2	機械要素		機械設計における機械要素の役割 要素部品の種類					
3	機械要素1-1		締結部品の種類と使い方 ねじとボルトの技術計算					
4	機械要素1-2		ピンの種類と技術計算 リベットの種類と技術計算					
5	機械要素2-1		伝達部品の種類と使い方 軸、軸継ぎ手の技術計算					
6	機械要素2-2		直接伝導と間接伝導の種類 ギア、プーリ、スプロケットの技術計算					
7	機械要素3		制御の種類 バネの技術計算					
8	流体における伝導		種類の説明 継ぎ手、管系の規格					
9	潤滑1-1		転がり軸受と滑り軸受の種類 技術計算と選択方法					
10	潤滑1-2		設計上の注意点と使用方法 ものづくり現場での使い方					
11	駆動系1		アクチュエータの概要 空気圧と油圧と電気					
12	駆動系2		空気圧の概要と設計 各種機器の役割と技術計算					
13	駆動系3		油圧の各種機器 圧力制御と流量制御と方向制御の説明と回路					
14	制御系4		油圧源と制御系の技術計算 配管の設計と圧力損失の考え方					
15	まとめ		設計方法と技術計算アプリ					
1 回配当時間		2 時間	1 コマ					
使用教科書		機械設計法						

SYLLABUS (前期)

授業科目	機械製図Ⅱ		年次	2 年	前後期	通年	単位	2
授業の種類	実習	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			○
実務経験内容	自動車整備職、航空機の開発試験、試験装置の開発等の実務経験を有す。							
教育目標	J I Sに基づく手法により機械部品のより実用的な製図技術を習得します。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	ガイダンス		機械製図の概要説明・本科の目的 機械製図5種類の製図記号概論					
2	手書き製図の目的		設計現場での応用 他分野での手書き製図					
3	機械加工図1		属性を取り入れた図面 属性の種類と使い方					
4	機械加工図2		機械加工図と鋳物図 ものづくり現場の実体					
5	配管図1		配管部品アッセンブリ（商品図） 継ぎ手の種類					
6	配管図2		パイプの呼びと種類 パイプの加工図、配管部品の固定方法					
7	配管図3		電気配管図 配管部品のサイズの決め方					
8	マニホールド		特殊部品の製図法 マニホールド図面の意味					
9	マニホールド1		マニホールド製作図					
10	マニホールド2		マニホールド製作図のノウハウ					
11	組立図		組立図の目的と仕様 組立図の製図ルール					
12	組立図1		少ない構成部品の作図					
13	組立図2		機械要素部品が含まれる構成外形図					
14	特殊形状1		幾何学形状の製品製図1					
15	特殊形状2		幾何学形状の製品製図2					
1回配当時間		2 時間	1 コマ					
使用教科書		JISにもとづく機械製作図集、過年度既出試験問題集2級/3・4級、新編 JIS機械製図						

SYLLABUS (前期)

授業科目	3DCAD実習Ⅱ		年次	2年	前後期	通年	単位	16
授業の種類	実習	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			○
実務経験内容	自動車メーカーでCATIA業務に従事した実務経験を有す。							
教育目標	「CATIA V5」を使用し、部品作成から組付け、図面化までの基本的な3次元CADの技術を習得します。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	前期の授業内容／ 基礎・スケッチ／ 3次元CADテキスト1		前期の授業内容／ コマンド説明（スケッチツール、スケッチ解析、スケッチサポートを変更など）／ 演習／テキスト解説（第1章 3次元CADの概念）					
2	第1回テスト（スケッチ） ソリッドモデリング1 3次元CADテキスト2		テスト対策／テスト（スケッチ）／テスト解説／コマンド説明（PD、リオーダー、 走査、測定など）、モデリング方法、モデリングルール／演習1 テキスト解説（第2章 3次元CADの機能と実用的モデリング手法）					
3	ソリッドモデリング2 3次元CADテキスト3		演習2／ テキスト解説（第3章 3次元CADデータの管理と周辺知識）					
4	第2回テスト （ソリッドモデリング） 3次元CADテキスト4		演習3／テスト対策／テスト（ソリッドモデリング）／テスト解説／ テキスト解説（第4章 3次元CADデータの活用）					
5	サーフェスモデリング1 3次元CADテキスト5		GSD概要（サーフェスモデリングとは、GSDワークベンチ）／ コマンド説明（ワイヤーフレーム、サーフェス、分割、トリムなど）／演習1 テキスト2級昨年度過去問題1、解説／準1級サンプル問題					
6	サーフェスモデリング2 3次元CADテキスト6		コマンド説明（フィレット、操作、サーフェス、スイープ、変換など） モデリングルール／演習2 テキスト2級昨年度過去問題2、解説／準1級過去問題1					
7	サーフェスモデリング3 3次元CADテキスト7		演習3 テキスト2級昨年度過去問題3、解説／準1級過去問題2					
8	第3回テスト （サーフェスモデリング） 3次元CADテキスト8		演習4／テスト対策／テスト（サーフェスモデリング）／テスト解説／ テキスト2級昨年度過去問題4、解説／準1級過去問題3					
9	アセンブリ・デザイン1 3次元CADテキスト9		アセンブリ概要（アセンブリとは、アセンブリ・デザイン・ワークベンチ） ／コマンド説明（ファイル作成～保存管理、拘束、操作、展開）／演習1 テキスト準1級過去問題4					
10	アセンブリ・デザイン2 3次元CADテキスト10		コマンド説明（SUB-ASSY、柔／剛サブアセンブリ、干渉、セクション、距離、 1Part化）／演習2 テキスト準1級過去問題5					
11	アセンブリ・デザイン3 3次元CADテキスト11		コマンド説明（非パラ、外部参照、パワーコピー）／演習3／ テキスト準1級過去問題6					
12	アセンブリ・デザイン4 第4回テスト（アセンブリ）		演習4／テスト対策／ テスト（アセンブリ）					
13	ドラフティング1		テスト解説／ドラフティング概要（ドラフティングとは、ドラフティング・ ワークベンチ）／コマンド説明（投影図、寸法、図面枠、ドレスアップ、印刷、 断面図、拡大図など）／演習1					
14	ドラフティング2		コマンド説明（部品表、組図など）／演習2／ テスト対策					
15	第5回テスト （ドラフティング）／ 期末試験対策／前期のまとめ		テスト（ドラフティング）／テスト解説／ 期末試験対策／前期のまとめ					
1回配当時間	16		8コマ					
使用教科書	JISにもとづく機械製作図集、CAD利用技術者試験3次元公式ガイドブック							

SYLLABUS (前期)

授業科目	自動車整備実習Ⅱ		年次	2 年	前後期	通年	単位	4
授業の種類	実習	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			○
実務経験内容	自動車整備職としての実務経験を有す。							
教育目標	実車を用いガレージジャッキの取扱いからエンジンの分解・結合、各種部品の測定等を行い、自動車整備士の力を身につけます。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	実車実習/ ローレル		リフト・工具類使用説明・車両リフトアップ・タイヤ脱着・増し締め					
2	実車実習/ プリウス・ローレル		車両構造説明エンジン車両とハイブリット車両の違いを説明・エアクリーナ（吸気系統脱着）					
3	実車実習/ プリウス・ローレル		タイヤ脱着・フロントブレーキ脱着（点検・交換概要説明）					
4	実車実習/ プリウス・ローレル		タイヤ脱着・リアドラムブレーキ脱着（点検・交換概要説明）					
5	実車実習/ プリウス・ローレル		エンジンスパークプラグ脱着（点検概要説明）点火系統点検・整備について					
6	実車実習/ プリウス・ローレル		冷却系統点検・整備（ラジエター構造説明・冷却水補充・水漏れ点検）					
7	実車実習/ プリウス・ローレル		車両下回り点検（各ボルトゆるみ確認・増し締め・錆等確認）					
8	実車実習/ プリウス・ローレル		エアコン点検（ファン点検・ガス残量確認・トラブルシューティング）					
9	分解実習（単体エンジン）		エンジン分解実習（単体6気筒エンジン）					
10	分解実習（単体エンジン）		エンジン分解実習（単体6気筒エンジン）					
11	分解実習（単体ミッション）		ミッション分解実習（単体マニュアルミッション）					
12	実車実習/ プリウス・ローレル		ボデーについて（構造・塗装・簡易磨き実施）					
13	実車実習/ プリウス・ローレル		車内装置・装備（前後シート脱着）					
14	実車実習/復習 プリウス・ローレル		故障診断（トラブルシューティング・診断機使用）					
15	実車実習復習・まとめ		前期実習復習					
1回配当時間		4時間	2コマ					
使用教科書		自動車整備士3級練習問題集シャシ、自動車整備士3級練習問題集ガソリン、電気の基礎知識 電気の安全に必要な基礎知識 ハイブリット車の概要、自動車整備実技教科書						

SYLLABUS (前期)

授業科目	自動車電気・電子回路実習		年次	2 年	前後期	前期	単位	1
授業の種類	実習	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			○
実務経験内容	自動車メーカーの製造ラインシステム設計やプラント設備設計、また、ロボットの設計業務に従事した実務経験を有す。							
教育目標	ハイブリッド車や電気自動車等次世代の自動車を扱うための知識として、自動車用電気や電子回路について学びます。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	ガイダンス		電気の基本知識と電子の基本					
2	電気回路		受動素子とは 抵抗・コイル・コンデンサの役割					
3	電気回路 1		シンボルと種類 抵抗の計算、合成抵抗					
4	電気回路 2		シンボルと種類 コイルとコンデンサの計算					
5	電子回路		能動素子とは ダイオード・トランジスタ・FET					
6	電子回路 1		シンボルと種類 ダイオードとトランジスタの理解及び計算					
7	電子回路 2		シンボルと種類 FETの理解及び計算					
8	電子回路 3		シンボルと種類(半導体の状況) IC/LSI・オペアンプ概要					
9	グループ実習1		スイッチング、ON/OFF、電流変化 トランジスタのON/OFF					
10	グループ実習2		バイブレータのLED点滅 RS-FF					
11	グループ実習3		音スイッチ フリップフロップ回路操作					
12	自動車の電源		常時電源・イグニッション電源 アクセサリ電源・イルミネーション電源					
13	電源ケーブル		ケーブルの種類と配線図、実体配線図 ケーブルの選択					
14	配線図		自動車の配線図の読み方 配線図の理解と記号					
15	まとめ		電気自動車の現状と未来					
1 回配当時間		2 時間	1 コマ					
使用教科書		電気の基礎知識 電気の安全に必要な基礎知識 ハイブリット車の概要						

SYLLABUS (前期)

授業科目	オフィスアプリケーションⅡ		年次	2 年	前後期	前期	単位	1
授業の種類	実習	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			
実務経験内容								
教育目標	E x c e l による各検定 3 ～ 1 級、初段の合格に必要な情報処理技術について学ぶ							
成績評価の方法・基準	成績は 1 0 0 点満点とし、6 0 点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の 4 段階であり、優（A：1 0 0 点～8 0 点）、良（B：7 9 点～7 0 点）、可（6 9 点～6 0 点）、不可（D：6 0 点未満）とする。							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	Excel (情報処理技能検定表計算資格取得に向けて)		・復習として、各自目標とするレベルのEXCEL模擬問題を実施。 ・目標とする検定級の聞き取り、相談を個別に実施。					
2	Excel (情報処理技能検定表計算資格取得に向けて)		・EXCEL 2 級模擬問題 1 を全員で作成 (IF+IF、IF+AND、VLOOKUP、ROUNDDOWN、ROUNDUP、セル証明など) ・1 級を目標とする生徒に新たな関数の案内 (RIGHT、LEFT、MID、CONCATINATEなど)					
3	Excel (情報処理技能検定表計算資格取得に向けて)		・EXCEL 2 級模擬問題 2 を全員で作成 (IF+IF、IF+OR、VLOOKUP、ROUNDDOWN、ROUNDUP、セル証明、縦棒グラフの作成と編集) ・1 級を目標とする生徒に新たな関数の案内 (DSUM、DCOUNT、DAVERAGE、ABS、&など)					
4	Excel (情報処理技能検定表計算資格取得に向けて)		・EXCEL 2 級模擬問題 3 を全員で作成 (IF+IF、VLOOKUP、並べ替え、セル証明、円グラフの作成と編集など) ・1 級を目標とする生徒に新たな機能の案内 (データの抽出など)					
5	Excel (情報処理技能検定表計算資格取得に向けて)		・各自、目標とする級の模擬問題集を実施。 ・A 4 サイズ 1 ページに収める、ヘッダーの作成を再確認。 ・個別アドバイスと解説。					
6	Excel (情報処理技能検定表計算資格取得に向けて)		・各自、目標とする級の模擬問題集を実施。 ・A 4 サイズ 1 ページに収める、ヘッダーの作成を再確認。 ・個別アドバイスと解説。					
7	Excel (情報処理技能検定表計算資格取得に向けて)		・各自、目標とする級の模擬問題集を実施。 ・A 4 サイズ 1 ページに収める、ヘッダーの作成を再確認。 ・個別アドバイスと解説。					
8	Excel (情報処理技能検定表計算資格取得に向けて)		・各自、目標とする級の模擬問題集を実施。 ・A 4 サイズ 1 ページに収める、ヘッダーの作成を再確認。 ・個別アドバイスと解説。					
9	Excel (情報処理技能検定表計算資格取得に向けて)		・各自、目標とする級の模擬問題集を実施。 ・A 4 サイズ 1 ページに収める、ヘッダーの作成を再確認。 ・個別アドバイスと解説。					
1 0	Excel (情報処理技能検定表計算資格取得に向けて)		・各自、目標とする級の模擬問題集を実施。 ・A 4 サイズ 1 ページに収める、ヘッダーの作成を再確認。 ・個別アドバイスと解説。					
1 1	Excel (情報処理技能検定表計算資格取得に向けて)		・各自、目標とする級の模擬問題集を実施。 ・個別アドバイスと解説。					
1 2	Excel (情報処理技能検定表計算資格取得に向けて)		・各自、目標とする級の模擬問題集を実施。 ・個別アドバイスと解説。					
1 3	Excel (仕事で良く使うEXCELの機能について操作案内)		書式設定編 ・練習問題を配布、自力で考えて結果を作るタスクを実施。 ・練習問題の解答例の解説。					
1 4	Excel (仕事で良く使うEXCELの機能について操作案内)		集計編 ・練習問題を配布、自力で考えて結果を作るタスクを実施。 ・練習問題の解答例の解説。					
1 5	Excel (仕事で良く使うEXCELの機能について操作案内)		マクロ編 ・練習問題を配布、自力で考えて結果を作るタスクを実施。 ・練習問題の解答例の解説。					
1 回配当時間	2 時間		1 コマ					
使用教科書	日本語ワープロ検定 模擬試験問題集、情報処理技能検定(表計算)模擬試験問題集、実践ドリルで学ぶ Office活用術							